

根

会報

第三号

東京女子大学同窓会数専会

目

次

数学研究室から	平野雪坂	(1)
歓迎会の模様	(3)
新卒業生の感想	(6)
おたより	(7)
住所変更	(31)

「お便り」

数学研究室から

平野雪枝

入学式を終え、新入学生オリエンテーションの係務に担任のものは遠征をきつて、やつと食堂で一息ついていると、数専会の会務局三号を出しますからといつて原稿用紙が私の前にごし出されました。やれやれと思つたのですが、去年は小林、中谷両先生が書いて下さいましたからといわれてみると、私がお断りする理由がなくなつてしまいました。学年試験、入試、卒業式と進捗つづきの三月が過ぎると、四月はもう新学年。講義の準備をきいていよいよ、教科書のきまつておなじものさえあるから、学生たちは一ヶ月半の春休みをまてあまして修業進捗とはかり勇んで帰校して行く。新入生は最初の夜禁に全身の好奇心を集めて待ちかまえている。先生というものが一番つらいのは今日この頃ではないでせうか。先生ばかりではない。届が忙しいのだといわれるでせう。実際、もつともつと忙しい人たちが私の周りで数専会の運営のために、会報

をまとめるために大変な苦勞をしていますが、それこそ文字通り犠牲と奉仕です。さすがの私も何か雷がなくてはない気持になり、皆様への御無沙汰お詫びをかねてペンをとつた次第です。

さて会報第一号では相当多数の卒業生にお目にかかれたいがして、本当に疑しうございました。中には御卒業のときお別れしたまゝの方もあり、数専会の方御消息をきかなかつた方、知らない間に遠方へ転任された方などもあつて、お便りの文句は短かくとも、私にはあれこれと想像をめぐらしながら、お一人お一人の御生活を心に描いてほ、えましく存じておりました。これは恐らく私だけの感想ではないでせう。あの会報の中で遠くの友、近くの友、年をとつたもの、若いもの、心が融れ合つたこと、思ひます。学園を訪れる機会はなくとも、同級会に出席できなくとも、年一度の会報を通じて卒業生が首肯を交換し、お互の生活を語り、聞き、感じて、共に喜び、共に憂いてゆくことは大きな慰めでもあり、励みでもあると思ひます。そのためこの会報を今後皆さんの力を養ひ育て、傾きたいのです。今やつておられる研究や仕事を紹介して下さるのも有益でせう。折にふれての隨筆、詩歌、紀行文何でもお寄せ下さるのも面白いでせう。勿論、現在の御生活の中から、例えは、転場の面白い体験、病床

日記、劣等見を教える苦心談などといったものをきかせて頂くのも結構です。とにかくこの会報は皆が気楽に語り合う場にしてほしいと私は願っております。

数専会に対しては色々の批判もあるようですが、同じ学園に於いては、また同じ数学を専攻したものの集まりであるという、同窓会のサブグループとして、この会の存在の意味があると私は思いますし、皆さんの協力で意味あらしめて行かぬばならないと考えますから、数専会への御希望は御意見なりを会報を通じてきかせて下さつたらば幸でせう。つい締縛係みたいなことをいってしまったが、次に学校と研究室からのお便りを少し申し上げませう。

今年度から三年課程の数理科の各学年がそろいました。もつとも数理三年の卒業生がすでに二回でました。これは希望による残留組でした。現在学生数は三年五の名、二年四七名、一年三六名です。大学生と申しても無邪気で明るく愛すべき学生たちです。よくまとまって、何をやつても要領よく、他人に迷惑をかけるのが皆から数理科の特色のようです。勿論、勉強にいま少し頑張をみせて欲しいと思うこともあります。

空閑の多かつた研究室の書棚もほつちを突し、色々のものが整備して参りました。どの内電気計算機なども

購入することになつております。

先生方はみな御健在です。小林先生は今年もまた御苦労な就職係を引受けておられますが、先生のお力でこの春の数理科卒業生の就職は好成績でした。中谷先生、庄原数学教育指導の任をおびて地方へも講演にお出かけになりますから、卒業生の方も先生にお逢いになる機会があると思います。今夏は三年生を引率して北海道旅行をなさいますので、今から振切つておられます。スポーツマンの中村先生は登山、スキーのリーダーという他に、学友会モーター研究部顧問という職も近代的な有能な方もおられました。お部屋にお姿が見えないときは、体育館の裏あたりで自動車を掃除しておられます。学生の個人指導その他研究室の面倒見は寺田君が担当に於いて参ります。私も今のところ無事に勤めております。小河原、魚返両講師はいつも新しい手紙の蘊蓄を傾けて懇切にお教え下さる貴重な先生方です。

この四月から本学の学生部長補佐として鈴木吉さん（二三年数専）と生物研究室助手として斎藤淑子さん（二六年数専）が新任されました。学校のどの場所に数学の卒業生が壽命に於いておられます。最後に改川上貞子氏（大正一四年英専）の遺志によつて、本学卒

兼生中算学研究会に奨学金が贈与されることになり、
たことは、さきに卒業で我せられたが、今年度こ
れを受ける最初の栄誉をえられたのは、担任東大入
院に在学中の湯浅多賀子さん（二六号教室）でありま
す。

多くの卒業生たちが研究に、教育に、各方面の職場
によい仕事をしておられることを思い、又より多くの
方々が家庭にあつて重い任務をしっかりと背負つておら
れることを考えますと、私どもは本当に心強く思つ
ております。

どうか皆様、いつまでもお元気にお過ごし下さい。

（四月十五日）

歓迎会の模様

去る二月四日（土）今年度卒業生を迎える教専会
の懇話会を女子大本館会議室にて開きました。あいにく
のお天気で曇りがちの空、午後には雨も落ちて来て
しまいました。それでも平野先生、小林先生、中村
先生に御出席いただき、三十二名の会員の方々と新卒
兼生十一名をかくんで二時半を少し過ぎた頃より始
めました。

教専研究室で助手をしていらつしやる根岸さんが先
輩の一人として歓迎の辞をのべられたあと、山下会長

が立たれて新しい方々に教専会というものの性格や活
動状況等をお話しになり、続いて小田恵美子さん、藤
尾美子さん、吉村たづさん、鹿が、それらの御生活の
中から同じ教専を学んだ者としてこれから社会に出て
いらつしやる方々へ種々の経験を話しての有意義なお
話をされました。

この間をめぐつて、最近大いに喧嘩の腕を上げられた
中村先生の素晴らしいカラー・スライドがまわされ、写
真を通して在校生のレクリエーションの様子をみなが
心すつかり女子大生だった頃の皆さんにもどつていら
つしやる様でした。

先生方の中からは小林先生に御挨拶いただき、さし
に一年間プリンストン大学に学ばれた花園松枝さんのお話で、アメリカにいたる留学生の事やインシュタイ
ン博士に逢われた事、最近の教専界の様子等一時間
わたつてのべられ、一同大いに勉学の気をやしなわれ
ました。続いて皆の要望で各自の自己紹介をかねてい
るいろむ立場からの意見や生活方法を発表しあい、
すつかりうちとけて古い卒業生の思いやりある御注意
や社会に出てもない方の様々な要望、更には家庭と
転場を立派に両立されていらつしやる方の努力と志を
教専を勉んでこれを実生活にどの様に生かしていくか
という事等、新卒の方だけでなく卒業生同志でもお

互に良い指導をうけ合つて本当に良い時を持てました。こゝで一応親睦会は終りに致しましたが、スズキに女子大の内をくぐられた方が先生方をおかしくでめつさなにお話 お互に紹介しあい古い卒業生から指導をうける最近の卒業生、雑誌の花を咲かせるかつてのクラスメートと、又別の親睦会が始められて最後に自然のコーラスがおこり讃美歌で幕がとけられる迄の一時向以上は出席者一同の良し短い出となりました。先生方のいつに愛りなく暖いお心とおみちびきをいふ、さ、先輩のほけましと助けをうけて本当に心より感謝の念をまつと共に、この会が更に多くの力々に御出席いただきいて感あるものに背つて行く探祈りつ、報告を終らせていただきます。

(幹事記)

出席者氏名

新卒業生 (十一名)

- 麻生 郁子 有馬昭枝 大和田せつ子 小宮恵美子
- 山藤 浩子 飯内順子 武田美保子 西脇千枝
- 稲原 穂子 三巻所子 山岸富美子
- 卒業生 (三十二名)

- (文年) 山下たみ (十一年) 花岡松枝 (十七年)
- 田中百合子、青戸珍子、今井蓮子、今井チエ子

- (十九年) 原美根子 (三十年) 尾井摩子 西宮純
- (二十二年) 吉村たつ子 小田恵美子 (二十三年)
- 谷口昭 (三十四年) 坂井愛子 (三十五年) 有田
- 久江子、大島澄子 (三十六年) 秋平久美子 (二十
- 七年) 水田洋子 坂田恵子 京啓子 寺内聖子
- 石丸梨子 (三十八年) 多磨尾美子 尾正子 (三十
- 九年) 石橋秀子、佐野知子、関美和子 (三十年)
- 飯田郁子、榎村優子、高宮弘子、原靖子、藤井純
- 子、島田亮子
- 在校生 (三名)

井川裕子 杉本嘉子、平平和子

出席者へのアンケートより

- A、勤務先 B、血圧 C、教員会に希望する

△花岡松枝 A 都立上野高校

△田中百合子 A 関東学院女子高校

B 卒業当時暫く教員生活を致しましたが又暇な始めまして一耳になりました。お蔭様で教鞭もとれる様です。色々得るところもあります。

C 教員の講座など時々してほしい。

△青戸珍子

B 小学校三年になる男子を頭に三人の子供の世話で明け暮れている有様です。

C、家庭に入っている者にとっては、家事の合間に読める程度の啓蒙される様な数学書の紹介がほしい。

△原美根子 A、女子学院

△吉村たづ子

B、小学一年、万ニオ、一オの男子三人で毎日わいわい言っている中に盛っています。

△小田恵美子

B、山林の管理と一町歩の田畑の耕作、この頃はトランシターがひろがって牛耕と共に農業的になり大表業をして天来の性格が直業半分にして居ります。経済をかちつてみたりしましたものやはり数学的問題が心に一番強く感じられ、ボン／＼とこれから仕事として生活の爲の競争と矢に行きたいと思えます。宗教的雰囲気の中に競争中でも暖かく包まれて居りました事を今更の如く感謝し、数学的な物の考え方の大切な事も感じて居ります。

C、四年の集り、数学だけの親睦会に一つの流れがある様な気が致します。同じ欲えにつながる者の親しきでしようか、段々に基礎的なものを勉強して行きたいと思うのは無理かも知れませんが、出来ましたら一ヶ月上旬、夏休み等出て来られるのです。

△水田洋子

C、会員は希望者のみを入れる様にしては如何でしょうか。卒業生の親睦とは別に校友会に熱心のある方々を会員とする会とした方が有意義な会になるのではないかと思います。

△横田恵子 A、家事手伝

△寺内里子 A、電力技術研究所

B、グムの訂正に明け暮れています。

C、卒業生が大勢集れる様有意義なお話を伺いたいものです。

△佐野知子

B、本学社会科学部経済四年に在学中

△高宮弘子 A、東大理学部数学教室

△種村霞子、飯田郁子

B、立教大学で数学を勉強中

△原靖子 A、東京瓦斯株式会社 調査室

△島田え子 A、日本住宅公団



新卒業生の感想

近藤 浩子

長かった学生生活も、数理科を卒業してピリオドを打ちました。戦争の最中に通った小学校、学制の変更を経て女子大に入った時にはホッと、次にはのんびりとしてしまいました。徐々に著着して来た社会と美しく静かな環境の中で過ごした三年間の学生生活は私にとって計り知れない有意義なものであったと思つて居ります。これからは数多い先輩の居られる社会にとびこんで行きますがどうぞよろしく御指導をお願い申し上げます。

西脇 千枝

変化の多かった社会の中で過ごした学生生活も三年の女子大生活を最後として終りました。これからは学校という枠に守られない社会を歩んでいかなければなりません。急に生活が変つていき、かまどつておりませんが、それにも今に慣れ、女子大生活を通して得たものがいつも私達の足元を照らしてくれる手を信じております。美しいキャンパス、先生方の御指導のもとで過ごす日々は終つても先輩の方々の作つて下さつた数専会

を通して時折学友時代の気持に度つたり、きつと離れてしまつてあろう数学にも血づく事が出来ると思つています。数専会のますます発展します様念じております。

武田 美保子

今年ももうはや新緑の候となり歳月の過ぎる速さには恐ろしくさえ感じさせられます。そして長い学生生活に終止符を打ち今年三月ようやく卒業しました。私達は過ぎ去つた学校生活での最後の女子大での生活を今しみじみとなつかしく回顧して居ります。あまりにも恵まれた環境にのんびりとしかも先生方の御熱心な御指導の下に育つて参りました私達にとつては女子大を卒業し今日の社会に巣出するに際しましては種々な所で幾分の興味と不安を感じるのを死なせませんでした。しかし御先輩の多方面における立派な御活躍振リや又私達新卒生に対する暖かい御支援のある事を知り、これに一同心を強する事が出来誠にうれしく思いました。河分今後の御指導をお願い申上げる次第です。

三 卷 茂子

大同も織に勤めてから三週間余りと云うのに人間の感応性は恐ろしいものです。

今ではいつぱしのサラリーマン気取りの無産刻、無欠勤と新しい生活に張り切っています。

学生時代には自己本位でも毎日を過す事が出来、或る程度の産はあつても、年令、稼働、教育課程等がほぼ等しいので、物の考え方もそう極端でなかつたものが、急にそれらの異つた集まりの中に飛び込み持に競争を喰とし、競争戦後の極端に考えの違つた人々が、一つの会社を動かす歯車となつてゐる所では少しでも相手を理解しようとする努力が如何に必要であるかを痛感し、その他親しき仲間にも礼儀のある事、その時々に応じた機転、積極的行動等を学んでいます。

又、春の会社の旅行を通じて社内とは違つた人間交を知る等目新しさの連続です。

会社での失敗も数々あり、まだ初月給も貰つていないと云うのに昇給通知を貰いに行く社員の後をこのことについて行き兼ねしたり、計算間違いを電気計算器のせいにしてたりと云つた具合です。

この様に一日たつ毎に一歩一歩前進しつゝある自分を意識し、花園から霞ごかる淋しさを感ずると共に、人間的成长を促さつゝあります。



おたより

◇昭和六年辛

△三木陸

遠隔地にいらつしやる為、お目にかゝる機会が少いと思いますが、お便りにはいつも拝して居ります。

仰のみ心のまゝ、御元氣でお勤めの御様子でございます。昨夏高松に数学教育学会が開催されました。折野先生、中屋様、宇佐見様にお同にか、おりました由、大表お花びのお便りをお寄せ下さいました。

△豊原しげ

相変わらず御多忙でいらつしやる由、でも黙々として働いてゐるとの御返事、最近大分台殿がふえたとのこと、これは皆様にお知らせしては後で此ら如何でございますが、何と申しましても先生の賞状十二分でございます。

△樋口恒恵

数年前に御上京、東京々学園の先生をしていらつしやいます。御家庭ではお二人のお子様のお母様として公私共に御多忙のこと存じます。氣象台の御弟様より時折御元氣の御様子をおつかつて居ります。御住所は

世田谷区上馬町一ノ八三一

△上田フサ

全然方面ちがいのことをしていらつしやるのお知らせ、目下栄養学方面で御活躍中、管長大学で教鞭をとつて居られ、又御馳走の作り方をよく御発表になつて居られます。

△河野隆子

風の便りによりますと、お子様も大変御身大きくなられまして御幸な御家庭生活を御送りの御様子、お住いは広島でいらつしやるかと思ひます。

△熱田霞江

目新しいニュースも無く毎日過ごして居ります。あれやこれや忙がしく仕手に息は水で居ります中どうとう現在の形場に扱が生えてしまいました。

◇昭和七年卒

△樋口千歳

新しく卒業なさる方の御多幸を祈り、「何の木の花とも知らず匂かな」と卒業の折書いて下さった安井先生を今更の様に憶び下らぬも又この休聖の句を借りて皆様に送る期待の言葉に致し度く思ひます。

△飯田悦子

一度上京し度い、母校へ行つてみたいという等は片時も頭から離れない位です。毎日何かと忙しの生活、これでいいのかしらと思つています。

◇昭和八年卒

桜も咲き暖かになつて参りました。又クラスのお便りをお出しにる由御苦勞様でございます。それでお息を書くように頼まれたので各該順に少し書いてみました。が違つている点がございましたら、何卒おゆるし下さい。

△梅垣安子

(旧姓「尼野」尊臨舎では「トンネル長屋のオヤケ」で通つていた安子さんは戦後、関西学院の神学部を御卒業になつて帝塚山学院におつとめになつてもう二年になります。尤も関西学院の学生時代にも関学の神学部と樟葉短大の先生をなさり乍ら勉強していらつしやいました。昨年お子様の順平さんが関西学院神学部に入學なさいました。が喘息で神戸からの通學が危くて六ヶ敷く、又御自身も大阪までは遠いので此頃西宮の関学の側にお子さん二人と下宿していらつしやいます。松林の中のお家で八畳の離れはなかく、快適と仰言つてます。神戸では女中さんまかせの旦那さんで過ごしていらつしたのが、下宿では洗濯から食手つご物まで一切合財安子さん一人で奮闘してその上、

三人もの家庭教師と家に習いに来る小さい生徒も教え
一日をフルに使ってそれで返って若返つて元気にな
った様だと仰きつてます。下宿の住所、面宮市仁川町
三の四六号居方)

△多豊

(旧姓藤田)

何不自由ない御嬢様だった豊子

さんは終戦後とて苦勞していらつしやいます。昨年
御長女が新宿高校を卒業なさいました。下の方々が学
校なので「今一番大変な時」と存気どうには仰言つて
ました。最近の御様子はおわかりませんが引続き進駐
軍関係の処に務めていらつしやる事と存じます。御多
年の日が一日も早く来ますように祈つて居ります。

△鈴木ツタ

は八潮高校の先生を大分長くしていらつ

しやいました。昨年四月から世田ヶ谷に新設された五

川新校に移られ、前にも通して居る学校にお務めです。
昨年初めには先生が七人の爲めに生徒の洋服の争から
御手荒の争までもとれこそ何かしら何までしなけれは
りなかつたと仰言つてました。学校では校長の次に年
等りであとみくむ若い先生方なので、とてもキビク
して気持のよい学校で楽しいですと仰言つてます。こ
ゝ三三年健康を悪くしていらつしやりました。がすつ
かり良くなりおりましたとの事、平当にお目出度うござい
ます。

△鈴木再子(旧姓鈴木)は結婚をさいます時に十年は使

り出来なから是非クラス会をしてほしいと仰言つた
女あつてもう十年はとうの昔に過ぎました。今日でも一
向に手紙を下さいませんのでお子様が何人さんいらつ
しやるのか存じませんが、もうお約束の十年が過ぎま
したから是非今度クラス会にお出かけ下さい。

△寺をよし子

(旧姓双川)

は弁護士さんの笑顔を二

男三女のママさんです。御長男は旧比谷高校の二年、
次のお嬢様は今年昭和女子大附属高校一年、又御次男
も今年慶応普通部の一年に入学なさり、下の二人のお
嬢様は永田小学校の六年と二年でいらつしやいます。
毎日つご初やら勉強の相手で一日中夢中で遊ばしてま
すと仰言つてます。お子様が盛つていらつしやるので
クラス会にもなかくゆつくり御出席になれませんか
でいつも残念に思つて居ります。

△中島冨子

(旧姓国分)

は浦和の聖公会の教会の牧

師さんの笑顔をその附属幼稚園の先生を三年位前から
していらつしやいます。その上教会の婦人会の責任を
持つていらつしやいますのでそれはくお忙しく今か
ら七年位前です。お正月にツタ子さんと私二人を呼く
で下さいました時などお正月ですのに一すお話をして
いてもすぐに呼鈴が鳴りやつとそのお客様が帰られた
と思つと又呼鈴がなりこれでも今日は夕方の方よと言は
れましてツタ子さんと嘆息してしまいました。あの場い東

子様がよくしていらつしやると感心するばかりです。
△仁保正子 是新潟外の出生地津和野の高校に務めて
いらつしやいます。昨秋中央大学の通信教育を奨請な
さり度いようなお便りをいただきましたがどうなさい
ましたかしら。又春には果樹園を作つて松村様さんや
私に送つて下さるようなお便りもいたしませんか
功なさいましたかしら

△麻田都 (旧姓山田) は二くのお子様のお母様を夜
看中学の先生をなさり下り年月流の生花の先生をもし
ていらつしやいます。日曜の外は夜お花を教えていら
つしやいますのでクラス会にも御出かけになりませ
んがお元氣にお越しの事と存じます。

△若山政乃 (旧姓島田) 昨年御主人様の御転任で神
戸に住まわれ一年になります。最初は林しくてどう
なる事かと思つたと仰る程林しい山の方にお注いで
ようです。三人のお母様で御長女の晴子さんは今年神
戸女学院に入学はされて先日とてもお花びのお便り
をいただきました。そのお便りに大が大病して十日余りも
お医者様がみえたり、又その上湯たんほ入れたりゆつ
くりと散歩にもつれて行かなければならなかつたので
子供が病人が一人出た様だと仰言つてますがお氣に氣
兼ねお越しの御様子で羨しいです。私は女子大に務め
て二十年近くになります。えらい先生方や先輩の方の中

仍かせて頂いてます。学校に務めているのでそれから
少しは皆様にお便りすればよいのですが筆不精なので
御無沙汰してすみません。

でも学校に居りますから用事がありましたら御返慮な
く仰言つて下さい。出来る事は致しますかしら。(小山)

◇昭和七年卒
△藤見ヒロ

家庭の都合で欠席いたしましたことを本当に残念に思
います。春にはお近くへ引越す予定で居りますので皆
様にお目にか。此る機会も多い事と今より集しみにい
たして居ります。

△小林正子
御元氣で杉並区東田中学校へ御勤務、中学三年と一
年のヴァイオリンのお上手はお嬢様がいらつしやいま
す。

△島谷マツ
昨秋生徒をつれて修学旅行で九州から和上京になり
ました。クラスの前が旅館におたづねして十数年ぶり
で昔のまゝの御元氣な御様子に接し本當にうれしく思
いました。

△ 遠足節

お元気で御元気で小学校四年と一年の可愛い、あど
さんの御養育に専念していらつしやいます。

△ 郡校ゆきあ

御元気で横井の桜ヶ丘高等学校で教職をとつておら
れます由。

△ 西崎睦子

お元気で中央气象台へ御勤務。

◇ 昭和十一年年

△ 川島田弘子 (不下)

深井さんも遠くもお元気にあつたの御様子です。
阿蘇さんは寒い北海道で二回目の冬を迎えられ一時
お病かつたお身体もお元気でいらつしやいます。お共の
クラス大半は東京ががらめつたに都合ア白もありませ
ん。私は早くも長女大学生となりオバアさんになりつ
つあります。一家七人の他に義妹が同居して八人の食
事の世話等々でどうも私には大家族がきつてもきれいな
い嫁の嫁で、私の最も理解な現在の向題は如何にして
安く、楽に、たのしい生活をすればよいかと云う向題
です。

◇ 昭和十二年年

△ 菊池鶴 (細谷)

御主人様御逝去なさいましてから戸越の方にお注い
で三へのお子様お育てになつて居られます。

△ 清川よし (小林)

昨年夏高松で教育教育会の総会がありました時、
中谷先生でびい先生が母校から御出席なさつて居
りました。お名前も存じ上げないので御挨拶をしそ
びれてしまいました。あの様なお集いに教育会の様々
ものが聞かれましたら地方在住の君には母校とのつな
がりも得られて嬉しいと存じました。この四月から晩
北高校の先生をして居られました。この四月から御
上京、東京でお勤めなさいますとの事でございます。

△ 黒崎千代子

何時もお元気で郡立大学で教えていらつしやいます。

△ 坂牧つミ (金井)

賑かい西宮市で運動としてお元気にあつた毎日を
お過ごしでいらつしやいます。

△ 清水静 (阿部)

最近の消息は存じ上げませんが三人のお子様のお母様でいらつしやいます。もう御長男は高校三年におなりかと思います。

△杉多澤（大久保）

「学校の仕事（郡立富士高校）と育成とに忙しく、とれでも元気に働いて居ります。子供は二人とも（安の子）大妻大夫でございまして助かっております。学校では後進の指導に微力をつくして居ります。人の子にしても自分の子にしても育つて行くのを見るのは楽しいものだと思つて居ります。今年も又受験期になつて学校という学校は忙しくどうも女子大の先生方も御自愛の程を祈り上げます」との事。お小さいお子様をお育てになりつ、高校の先生をなさつて親切な毎日を送りの御様子です。

△石橋幸子（小柳澤）

「教専会のおしらせ頂きましてありがとうございます。出陣出来ないことは残念でたまりませんが、かつての頃の念を思い出しつ、盛会を祈つて居ります。私等子供は長女（中三）長男（中一）と成長し先生生活（福岡女学院勤務）も七年余りとなり、しむはあえましたが中学生や高校生の良い人達と相愛せず不登

りのくきに暮して居ります。女子大の同窓生が六人、一緒につとめて居りますことは大きな慰めを覚え感謝の言葉を送つて居ります」とのお便り、良妻賢母として良き先生として有意義な日々をお過しの御様子です。

△近巻子（桑田）

一番下のお嬢様が今年から学校に入られました。由上のお子様方も大々御成長、御長女は白百合大の園又科を御卒業なさりました。おお子様の事、御家庭の御用にお忙がしくお過しでいらつしやいます。

△船橋みか

最近の御消息は存じ上げませんが引続き郡立南多々高校で楽園田な先生としてお教へか事と思ひます。今年も暖かい冬を過ごせて喜んで居りました。お寒さはどうした事でもございませう。定生方、教専の信札方が夏ソゴざいますせんか、先日久々で女子大に参り管く程に成長した不々に御喜ばれた落着いた学園を見ましてはくつとにびつつかしい想いを致しました。私等すつかり家庭にとびこつたさきりでもその上子供が居ります。今年八月三オになりました。父が近頃めつきり

老衰の度を嗜し、定時の自由が日一日と減じて終日床の上で過ごす様になりましてまことに氣骨の折れる日々でございます。昨年は少々健康を害しましたのであるべくのんびり過したいと願いつゝも初かと多忙な毎日を送つて居ります。先生方、皆々東方の御健康と敬厚会のより一層の御発展をお祈り致して居ります。

◇昭和十四年卒

片岡ヒサ（鈴木）記

△通すみ子（宮川）

相変わらず主婦と講師との兼業です。勉強の意欲だけはあるものの毎日届けられる書物はたゞ本棚に並べられる運命、いつも勉強を続けて居られる森昭子様のお便り拝見する度にそのときだけは私も、とハリキルのですが。

△高瀬幸子（内田）

珍らしい大雪でございました事、お蔭様で元気に過ごして居ります。大分古い卒業生の方になつてしまいました。この頃は毎日子供と一緒になつて忘れな程科を勉強しようと思つて居ります。先生方皆様は御よろしく。

◇昭和十五年卒

△橋八千（橋）

京都府立朱雀高校にお勤めです。阪大で一年上の方も御一緒でぞつて大変はりきつていらつしやいます。

△松田純

母校新写原立新発田高校にお勤めです。相変わらず高校生にしたわれていらつしやる事ぞせう。テニスホッケーなどよくはさつた方です。

△清水千代（前田）

母校東洋英和女学院にお勤めです。昨春秋都交男がお生れにむけられました。お忙しそうです。

△滝たみ（星野）

小学二年生の長男とこの五月で満五才の長女を相手に毎日家で遊ばせております。昨春秋三ヶ月ばかり東洋英和にお手伝いに参りました。

昭和十六年卒

△出田君子

どちらへも御無沙汰十余年、申訳なく存じて居ります。その間に子供達も成長し末子も小学二年になりました。やつとわすれぬしい育恩から解放され、子供達を学校へ送り出せばあとは一人でゆつくり家事にボツトしてします。近くには同窓生も少ないらしいので外出も子供達の学校へ行く位で専ら家にとどこもつて

います。

△桂田芳成

元気で同じ処で勉強を続けて居ります。母と姉と三人で今迄随分幸福な生活だったので、母が昨年十一月ごろなりましたから深い悲しみから抜け出さず居ります。

△宗像氏子（千阪）

生活の苦しさに押しつぶされて居りました。今は五才と四才の子供と家にとびこもつて居ります。ところどころクラスの番様にもお目にかかり度いと思つております。

◇昭和十六年卒

△池野もも（霞村）

大変お寒い日が続きますが、どちらもきつと毎日さびしいお寒さでございませう。さて教団会のお知らせにうれしく拝見致しましたが、が同しる遠方の高次念ながら欠席させて頂きます。毎日平凡にたゞ家事におわびて一日を過ごして居りたまに暇がありますと、自由流にてタイプをたゞき、英語の本等うつつしきつて居ります。数字は全く勉強する機会もなく基礎数学講座等買つては居りますものむむしく本棚に並んでます。では旨

様によりしくお伝え下さいませ。

△坂谷泰子（坂谷）

柳丁尋母御案内、伏有難う存じました。卒業除版を拝見いたして居りますので、座日多忙で身本のあく時が首下ありませんので、矢礼致します。番様によりしく。

△渡辺綾子（毛受）

子供達のPTAに出されるのが唯一の社会との接触で、毎日平凡な母親として暮して居ります。

◇昭和十七年卒

△青戸玲子（佐藤）

小学校三年になる男の子を頭に三人の子供の世話で、来る日も又来る日も明け暮れて居る有様でございます。教団会に対する希望としては、家庭に入つて居ります居るとりましては、家事の台向に読めまして程度の高次念がございます。お数字書の紹介をして頂いたらうれしゅうございませう。

△新井信子（河内）

昨年四月アルゼンチンのブエノスアイレス市へいらつしやリスパイン語で大部苦勞していらつしやる何様子です。

住所 Monteg 299 Montevideo,
Buenos Aires, Argentina.

△今井重子（石巻）

卒業当時は大東の地味物理研究所で高等教員のお手
伝をしていらつしやいました。が御結婚なさつて今では
小学校五年と三年のお子様があり数学とは大部隊の匠
い生活をしていらつしやいます。洋裁もなさりお頭は
製帽を勉強していらつしやいます。趣味でなされる職能
は素人漁水のみです。

△平井和子（中沢）

初雪で銀世界、北海道を思い出します。子供は朝寝
び出したさり帰つて来ません。私も孫が出しましたが
年です。寒さに負けてすく又こたつへ、二人切りな
少でたいくつな毎日です。勿論山の様なつぎつぎや、
満物は押入につめこんです。身体だけは丈夫です。
スキーは幾やましいです。石井さんは今年になつて
二度も行きましてよ。私も秋がもう少し大きくなつて
は行くつもりです。

△池田麻子（中島）卒業以来十三年余り、一度学校を
おたごぬしたいと思ひ乍ら年寄やら子供供に囲まれ

て毎日あゆたッしい日を送つて居りました。思
うにまかせません。子供達ももう二三年すれば小学校
へ入学して少しは時間もお出まると存じますが……
諸先生方、皆様方によるしく御伝え下さいます様へ、
御会の御発展をお祈り致して居ります。

△加藤茂代（野沢）

毎日お寒い日が続いて居ります。打角の会ではござ
います。御会がつかまきせんので欠席させていただきます。
この会がますます発展していくことを心からお祈
り致して居ります。

△松本富子（平田）敬専会の御通知ありがとうございます。

した。出席致したのは山々でございましてが、今一
番忙しい時でございましてとても御会がつかまきせん。
りません。打角でございまして今度欠席させていただきます。
とうとんじまきせん。どうぞ皆様によるしく。

△長田貞江

砂らしい大雪、母校のあたりの眺めはどのようか
晴らしい事かと想像いたして居ります。敬専会の御通
知有難う存じました。当日は御会によりまして出席致
しかねますが、会が年毎に盛大になつて参りますこと

皆様のおかげと心からうれしく存じて居ります。私も自宅で個人教授などいたしながらどうやら元気にして居りますが殆んど外出する事もなく静かに生活して居ります。諸先生方ともお目にかかりたく存じながらその折もなく、くれぐれともよろしくお気へ置き下さいませ。

△此井芳子

幼稚園に行くようになりました。母と五人元気で暮しております。

△佐々木幸子(河内)

親睦会の御案内有難うございました。切角ですが二月四日は出席出来さうも御座りません。悪しからず思召して下さい。卒業して十数年になりますのに解任の研究に「孫さんの本」をめぐり返す折々であるに女子大時代を思い出します。

夜室高校勤務

△雨 村(倉田)

お知らせありがとうございます。何かと御世話様でございます。土曜日は出かねますので失礼させていただきます。御盛会を御祈り致します。

△竹井倫子(中村)

私も昨年三月から和歌山女子短大の高校の方に勤めております。二人の子供も今年から上は小学校下は幼

△田中百合子

数事会のお知らせ遅くいたりました。久し振りに学校へも参りたく存じておりますが、健康も勝れずスカーフのハムの内服や他人様の贈物等いたしておりました状況で参加いたし兼ねますので御通知申し上げます。相変らずリウマチの如き痛みがあり、温泉通いをしており又眼は後の飯食をかけた物は物忘れがひどいような有様で就職も出来ず不慮をかこっております。

卒業当時暫く教員生活を致しましたが又養育院始めて一年になります。お陰様で教員も出来るようになり色々と得るところもあります。数事会で数学の講義など時々用いて頂ければ結構に存じます。

岡原学園女子高校勤務

△吉原 春(小島)

小学校生活も又二年となりようやく馴れて何処へ行つても小学生の事はすぐ目につきすぐ世話を焼きたくなります。私のように数学から離れずとせめて指導

会で口紙数学の講義会をも持つて頂いてこの報告でもお聞きするのを楽しみにして居ります。在賢県大町小学校勤務。

△今井チエ子

卒業当時は計算機械の研究等といふ夢を遂げて高等数学も学校で教わつたものをそのまま、続けて行けそうと希望を持つて居りましたが終戦で研究室は解散、疎開地信州に三年、畑の土にまみれて暮らして居るうちにすつかりホケてしまいました。二十三年母校の会費課のお手伝いという事で出て来て以来もう八年経つてしまいました。改葬会の事も前任幹事を引受けてから二年、大した事も出来ないうちに日が経つてしまいました。中々同じ手になりませんので思つて居る手の半分も出来ず何時も先生方のお小言を頂いて居ります。皆様もどうぞこの会を自分達の会に育て上げて下さいませ。様お願ひ致します。

◇昭和十八年平

△平野 弘

卒業以来十余年、いつも母校からのお便りをなつかしく拝見しております。いろいろな雑しども出たいとの心のみで何分にも遠隔の地におりました。物めを持っておりますので趣に任せませす。今回も残念乍ら欠席させ

ていたまきです。会の御盛大な準備をお祈りしております。私は十八年の秋から大阪の母校に四年その後引続き今の学校京都の白舌ヶ丘高校につとめております。垢がつかない様にとのみ念じつつ、平野先生、小林先生によろしく申し上げて下さいませ。

△真島美津子

お便り有難う存じました。欠席させていたまきです。一度上京致したいと思ひながらなかなか実現出来ません。新年にはなつかしくも会田様よりお便りいただき大変うれしくございました。すつかり御無沙汰致しておりますが先生方お元気のこと、拝察致します。二月二十九日は福岡支部の同窓会を致さぬと申す由出席を無しくで居ります。あとで様子を知らせて致そうと思つて居ります。山崎様、吉原様にそのときはお会い出来るを期待して居ます。松尾様も大村に居られる由、一度もお目にかゝりませんけれど、九州には教壇出の方々少く淋しく思つて居ます。最近はやつと急病がなつて数学の講義も出来なうに居りました。来年度は少し時間の余裕も出来ることと思つて居ます。やはり女子大時代のなつかしさが忘れられぬのでしよう。講義の時間も女子大に居るような錯覚を起しそうです。やはり四年間はいつまでも楽しい時代だつたと感じて

居ります。

△松居朝子

大友御無沙汰致して居りますが会員の皆様お元気であらうでしょうか。第六回卒業生の歓迎会が催されますので残念ながら遠路で出席出来ませんのでお届け申し上げます。私もおかげ様で元気で働いて居りますので他争ながら御安心下さいませ。平野先生始め、各先生によりしくお伝え下さいませ。かしこ

△村越アサ子

数専会の御通知ありがとうございます。いつも色々お世話様になつて居ります。二月四日の会には都合により欠席させて頂きます。御盛会を祈ります。

△西村綱子

お便りありがとうございます。早速御返事とお願いながら遅れましてまことにすみません。一月廿五日には欠席をお知らせするつもりでした。親睦会は盛会でしたかしら、数専会の発原をお祈りしています。二月七日付。

△大東つね子

二月四日(土)の歓迎会並びに親睦会の御返答をいただきました等々御礼を申し上げます。出席の行は疾病の都合上出来ませんので欠席させて頂いたまじります。御一同様の上に神の御恩恵の豊かでありますように。

△小野寺(旧姓小野)志津子

御結婚お長び申し上げます。

◇昭和十八年卒

△杉原博子(田谷)

いつも御丁寧におしらせいただきながら出席出来ず心苦しく存じます。お世話下さいます方々の御苦勞を感じて居ります。私も母は子供が病氣オバダりましてたろでサ子大幼肥グループのテストをつけさせまして入社していたける事になり家中長くて居ります事です。今後は子供の事も少しは離れられますのでなるべくお集まりにも加えてさせて頂きたいと存じます。

◇昭和十九年卒

△矢野洋子

昨年出席致しましてから早一年たつてしまつたのかと御案内を頂いて今天に書いてしまいました。ご一筆の御返事もなすこともなく同じ様事をして御迷惑を掛けたり承せて居つてしまいましたこと誠に恥かし

く存じました。妻にのみまもつてしまひますと何かい
たい勉強したいと思ひ乍らも病のみ過して退歩致すは
かりお仲間でも出来れば年と存じますが昨秋の救護
会の講座など学費で同った大ご荷がおそろしくなつて
到底出席しても届付けないうやうな気がしてしまひまし
た。この一年は大いに生活もとの、のえ少しは勉強もし
て来年のお集りには出席させて頂きましようと思ひま
す。

△急務後子

相乗りす労働者婦人少年局にっつておられます。

△豊田ミチ

二月四日は今年小学校入学の二男の学校で集りがあ
り欠席致します。去年の春豊田が体をこわし三ヶ月程
入院致しましたので大急ぎで東京に家探してきて勤め
先に近い池袋に引越しして参りました。家の売買のこと
引越の手配一人でして随分忙しう思ひを致しまし
た。長男は立教小学校二年です。毎日家事に追われて
数学など急に遠い様な生活を致して居りますが、つと
東京に出て参りましたのですからこれからはいろいろ
な講習会にも出席させて頂き勉強致したいと存じます。

△お入娘

女子学院に勤めておられます。

△兵庫よしえ

この三月に三番目の子供が生まれます予定で産科様に
外出出来ませず残念乍ら欠席させていただきます。

△長谷川ふさ子

只今年入学の長男とお誕生近い三男の二児の事で
相乗りす忙がしくして居ります。学校の近くに住ります
が、色々のお集りにも出席出来ず残念に存じて居りま
す。せめて下の子供がもう少し守りが、おなぐなリま
したらこそその隙を算しみておられます。

◇二月六日曜

△飯塚（鈴木）恭子

お子様を育て乍ら先生をしていらつしやいます。夏
くて仲々クラスの方々と遊ばないと思念がうていらつ
しやいます。

△石川（高井）英

相乗りすのハリキリぶりて三人のお子様と旦那様の
よきママであり、よき奥様でいらつしやいます。

△大塚 彦

只今御病癒祭中、御倉の聖アレスシアでお帰りのこと、一日も早い御全快を祈らずにはいられません。

△大野（西） 明子

日本で十三人目とかの女弁護士さん。いつの日にか御主人様と共同の事務所を開いてすばらしい活躍をなさる日をお待ち致して居ります。

△興田（吉村） 光

岩崎電技ではもうお株の方で立派に御仕事をつづけていらつしやいます。たつたお一人のお嬢さんも随分大きくおなりのです。

△郭（佐藤） 淑晴

比叡で師範大学の先生をしていらつしやいます。先般お父上様の節々、やかな記念品をお送りしました。たがそのお礼状を繕う今更中にて、たのせられませんで残念ですがいつかすばらしいニュースのあった時には皆さんに必ずおしらせすること楽しみに待つて居ります。

△倉田美沙

もう押しも押されもせぬ立派な先生。ごもか目にか、おはやつぱり言慮りの明るいシヤ子です。これから御活躍を祈ります。

△五代則子

国会図書館におつとめです。此の頃お忙しうと見え、てなか／＼お目にか、礼す残念です。

△沢田（佐藤） 摩耶子

すばらしく良いお母様でまだ小学校のお嬢様の中学進学のことなどいろいろ／＼と考えていらつしやいます。

△仲井（北山） 治子

お母様によく似た可愛らしいおやちやんを前にお伴せとうです。

△西宮 純

相変わらず御勉学中、最上乗御師になられ御父上のお寺助けもされて居る様子。今後の御活躍が期待されます。

△野沢佐留子

母校で先生をしていらつしやいます。相変わらず正義感の強い立派な先生です。

△堀渡(全枝)久子

仙台の北の私立の尚絅女学院に勤めるようになつてから二年七ヶ月になります。イヤダイヤだと云つていた先生になつて若い生徒さん達と一緒に同僚つて云い直したり冗談を云つて笑ひ合つたり、へホ先生ぶりを発露して居ります。昨夏七月の末女の子がはじめて生れました。とにかく学生の頃を思い出して乍ら競争の真の不勉強を少しづつこり戻しています。(お便りより)

△塚尾(佐々木)登子

最近御結婚になり旦那様は入学にぶつとめの由、佐々木さんのお伴せを心からおよろこび申上げます。

△蒲口(土川)寛子

上のお嬢さんは女子大の幼児グループに通つていらつしやいます。しつかりしたお例口なお嬢さんだどうぞおたのしみのこと、存じます。

△守岡(谷井)喬子

お母様に似ないで大きくなりました。恥つたお嬢ちゃんがお出来で重くてつれづれけないとびげいていらつしやいました。が反面お伴せ相手がが包み切れない御様子です。

△山崎マツエ

この様なおしらせをいたゞく度、東京任任の方々が羨ましく存じます。とは申せつとめ先には女子大卒が六人もいてなかなか女子大色を豊かにたゞよわせ毎日楽しく賑やかにして忙しく働いています。(お便りより)

△吉井(阿部)トミエ

元気とうないたゞらつ子らしいおあちやんをつれてクラス会にいらつしやいました。

△梶井(片山)博子

十分皆様の御様子を見上げましたので短う様に書けませんが残念です。私は相変わらず犬と主人を相手に暮らして居ります。マンネリズムにならないようにと考え乍ら生活して居りますがいつの間にか単調な進歩のない毎日を続けている自分を見出して恥じて居ります。何かよき打開策をお教え下さいませ。

◇昭和二十二年卒

△山本晶子(政田)

たいへん御無沙汰いたしておりますが皆様お痛で御活躍の様子何より存じます。神戸よりまだこちらへ転居しまして東京からはますく遠ざかりすつかり田舎の生活になつてしまいました。二才と六ヶ月になるゆやを相手が毎日忙しいう日を送っております。さすが南国で大寒と申しますのにおこたも不用のようでございます。暖かな海に近いこの地は小さい子供のためには好適かと思われます。でも皆様にお目も出ません。争は何と申しても残念で東京をなつかしくでおります。会には残念ながら出席出来ません。どうか皆様様におよろしくお伝え下さいませ。会の発展を益にお祈りしております。

△岸田宗子（小野） スレ振りに母校を訪問させて頂き度く存じますが残念乍ら次回にゆすつて欠席させていただきます。只今下北沢の成徳学園に勤務して居りますが二月は新入生受験の日にて日曜は狩り出される運命にあります。学校と家庭と両方をもつて身多忙すぎ候れした時は身を養ひはしないかと心配しますが一応今後もおし通すつもりで居ります。疲れをくぐりつゝも気丈は若く殊に学校時代なまけた大に何か新しいものを求めております。会への希望は特にありませんが生長を祈り上げます。御指示の通り状況報告迄。

△内山文子（佐野） 東北の都から東京へ移りましたの

で々々にお尋ねしたく思いますが折あしく当日は何い兼ねます。残念でございますが又の日をたのしみに残して。御会の御発展をお祈り申し上げます。

△会津かをる（川西） 本の間からお言葉を拝見してとんだ私の迂回々に気が付き申訳ひさに買められております。こくま遠くにおりますものためわざく御長て有難うございました。今頃になつての御返事で却つて御迷惑でございませうが一筆お記びとお礼申上げ度くやんをとりました。こちらに参つて来りて八月間。ハ字一年の長男、満三才半の次男を相手にしてございす。いつかやは教団会のお便り有難うございました。他味のお仕事で大変でいらつしやいませうが益々充実したお便りを出して頂ければ嬉しく存じます。

△千本淳子（杯） かしらせ有難うございました。新しい方々をお迎えする事が出来まして本当に嬉しく存じます。お休りにも伺いたいと存じて居りますがどうしても当日は子供及び留守の都合がつかぬままなので残念ながら欠席させて頂き度く存じます。幼稚グループの一番小さな組に入れて頂いて居る子供が一人居りました。平凡にしかり元気に遊んで居ります。

△寺田陽子（桑田）

お知らせ有難う存じました。四月には一寸差しか
文がございまして失礼させて頂きます。五年会戦を
お送り頂き大変うれしく拝見させて頂きました。又出
して頂ければ幸いです。私は四月になつたら二
年生になる長女と来年入学する次女とがいます。毎日
何をすることもなく過ぎて行きおでこのしわにグクゼン
として整形外科にでも行きたいけれど、もし失敗してこ
れ以上粗末な願にならぬから困るので、ひとかたマツサ
ーツと美容体操をしています。私共は毎年春秋二回、
卒業以来レンメンとしてクラス会をしています。

△山内昭子（河野）

色々お手数おかけ致して居ります。一度出席したい
と思ひながらつとめと家と仲々出かける時間ござい
ません。只今世田谷区立梅ヶ丘中学に勤めて居ります。
受験を期して教師の方がドキ／＼しています。自分が
勉強出来ないで盛んな子供達の努力の期に時々これ
いゝのか消耗して了ふ事もある昨今です。

△一振優子

お知らせありがとうございます。たまには皆様と
お逢いし色々とお話を伺いたいと存じますが多忙の属
欠席させて頂きます。私事相変らず女子のみの中学、
高校につとめて居ります。大学入試模倣試験の時等、
生徒と共に母校に参る事もあります。但し此以外はい

△大札させて致し残念でなりません。

△高木佐和

お返事遅れて申訳ありません。現在中学校につとめ
ています。三年の担任ですので大変に忙がしく過して
います。

△夜礼子

折角のお集りに参加出来なくて本当に残念ござい
ます。がいろいろと用事が重なりつてどうにもでかけられ
ませんので失礼させて頂きます。幹事の皆様にはいろ
いろ御苦勞様でございます。

◇昭和二十三年卒業

△秋山純子（四家）

十和田湖に日帰り出来る八戸にお住いになつて六年
余り、昨年二月に御次男がお生れになりました。盛りの
御長男とのお守りで大変との事です。

△浅野 郁（佐川）

昨年六月にお嬢様がお生れになりました。

△荒巻昭子（白石）

昨年十二月に御次男がお生れになり、目下家事と兼
児に忙殺されていらつしやる御様子です。上の坊ちや
まは此の春から幼稚園にお通いです。

△浅田照子（山田）

東洋英和の講師等をしていらつしやいました。昨年

暮御結婚なさいました。

△大木泰子（三谷）

昨年九月から暫く女子大に聴講に来ていらつしやいました。二人のお子様がいらつしやいます。上のお嬢様が此の春東洋英和の小学部にお入りになりました。

△松山兼子（大矢知）

水泳、テニス等Y.W.C.A.の体育部で御活躍でしたが昨年十一月末に御結婚なさいました。

△鴨沢久代（永井）

お子様がお出来になりましたが今も東大の出版部にお勤めになつて御活躍の御様子です。

△川口由紀子（藤井）

専ら幼稚園に通つていらつしやる一人っ子のお嬢様の教育に御熱心で遠足運動会、PTAの会等お子様と一緒によく幼稚園においでになる由。

△北川三十代（伊東）

昨年十月の級会の時のお便りから——
家族は四年六ヶ月の晴美（男）と三人家族他に大一匹です。主人が嵩山大葉学部助教授の關係上学生さんがよく遊びに来られ賑やかなので此の頃はあまり東京に帰りたいと思わなくなりまして。四月に主人にすゝめ、あらびてNHK福山放送局へ入り養成期間も過ぎ、ぼつ／＼と出始めました。語り手とか朗読に大膽があ

るのですが、

△岡富生子（小林）

……お寒さの酷しい中にも新しく御卒業なさる方々の歓迎会が開かれます事を伺いますと何となく心の内は春の早のもえ出す様な気がいたしてあります。遠方出席出来ませんが、どうもよい会で御座います様祈り上げております。新卒業の方々の中に仙台の方がいらつしやいましたら、御卒業後当世でお逢ひしてお話伺い度う存じます……

昨年御長男がお生まれになりお二人の御子様のマ、にならぬました。

△若口昌子（伊沢）

級会の時のお便りから——此度は東京の麓の平野からバスで二時間余りの所で御座います。九月に半月程上京致しましたけれど何しろ山国育ちの子供を産むての手で御座いますので、毎日さら地下鉄は電車は、トロリーバス、エスカレーターに乗ろうと引張つ返され屋には羽田迄案内させられる始末で閉口致しました。四年十ヶ月の男の子で御座います。

△佐竹さな江（秋山）

昨春御結婚なさいました。が今も専らマ学園にお勤めでいらつしやいます。

△鈴木吉

卒業後すつと下肉の舞々々学校に勤めていらつしや
いました。が此の三月でお止めになり、女子入の学生寮に
いらつしやいました。

△徳川百合子(大工原)

昨秋御結婚なさつて戸屋にお住いで。

△高橋式子(合田)

級会の時のお便りから——さて近況ですが一番愛つ
たのは、女の子の生れを争ひます。もう遅い／＼したリ
つた歩きをして居る目が見えませぬ。家の用
事と赤ちやんとに追はれて一日一日の経つのは早いこ
と。こうして家に閉じこもつてばかりいると何か世間
にとり残されて行きはしなやかしらと心配になること
もあります。

△谷口 昭

女子大に勤めるようになってもう丸五年になります。
四月から鈴木さんも学生寮においでになつて心強くな
つております。

△塚本聡子

卒業後すつと学校にお勤めで昨年四月に佐賀商業高
校に御転任になりました。昼間ハ。名の中華生徒が
二五〇名も居りますので女教師はオンリーワン。全く
女性のゆく恥場の狭さと封建性を感ぜますとのお便り
いたゞきました。

△戸沢桂子(須々木)

三年の教員会の御報告本当に懐しく純しく拝見しま
した。三人の子供に遊いまくらぬで居る中に、長男は
今年はもう幼稚園へ行くんだと涙切る程になりました。
数字なんてどこへお返ししたのやら。今の状態では子
供屋が高校へ進学した頃には一寸自信も持てようにあ
りませぬ。

△野田和子

立正学園女子高校の講師をなさりながら一昨年中央
大学の法科を御卒業になられたとの事です。

△藤井尚子(武部)

現在二女の養育に忙殺されて居ります。もう数年輕
ては結婚生活も十年になり、教員会にも出席出来るよ
うに自分の生活を取戻せるのではないかと楽しみにし
て居ります。

△星野 郁

二十八年度から東京に来られ、海部区にある級会中
学にお勤めでいらつしやいます。

△水谷正子(香藤)

昨年男のお子さんがお出来になり、小金井甲字をお
止めにいられたとの事です。

△森川幸子(山本)

級会の時のお便りから——六月廿三日、園高さんの

御子様に一週間はかり遅れて長女を出産致しました。子供は嫌いだつた私ですつかり親馬鹿の仲間入りをして毎日此の女王様に抱いて使われております。商店街に育つ子は適当な散歩場所のないまゝ、毎日散歩と云えはウインドシヨッピング、登山用具と洋品屋のウインドが大好きで今からこれでは不承しいと笑われております。お風呂の大好きなのも河童の子はやはり水が恐いのでしよう。小学校に上る迄にはクローブルで泳げるようにしよう等と河童の両親は考えております。

△八十島栄（福中）

級会の時のお便りから——昨年一年腎臓炎で寝まして今年四月から又勤め（東洋英和）に出ては居りますが完全にはまだ直つておりませんので、体をいたわりいたわり生活している状態です。

△夫野晴美（戸田）

昨年六月不慮の御災難で御主人様がおなくなりになりました。お二人の小まなお子様がおいそになり、将来の爲にも出来るだけ早く仕事につきたいとおっしゃつていらつしやいましたが四月から大田区の六郷中学校にお勤めになるようにならぬ本当によかつたと喜んで居ります。暫らく中野区野方町三、一五七九戸田環にお住いです。

△山沢公子（山沢）

お一人のお嬢様も大きくなつて親書会や茶会をお始めになりましたとの事。

△山田靖子

級会の時のお話ではお勤めの傍ら華月流のお花の先生をなさつておいでになり出版教授も致しますから御希望の方は何卒という事で御座いました。川口さんのお話では昨年十一月末に御結婚なさつた筈との事です。

△山本敦子（山本）

四年ばかり千葉の鴨川においでになりましたが一年前九月に東京に帰つていらつしやりました。

△山本静枝（山本）

長男が生まれたばかりで新至りです。お話を聞いていたります。上のお嬢様は昨年小学校にお入りになりました。

△吉田萌子（吉田）

遠方より御盛會をお祈り申上げます。南塚に似ているらしい当地（北見市）では毎日零下二十度そこえる寒さです。道路も凍つて居りますので雪下駄（履）にすべり止めの金具のついた皮のつま皮つきのもの、おかん高い首をたて、通つて居ります。夏は阿寒の入口でもございますので旅行の際は何卒いらして下さいませ。二女（満五才及び十一ヶ月）有り……

△奥野（佐々木）千恵子

「残念下ら仕事の都合で欠席させていたります。丁度二月中旬までに提出しなければならぬ資料がありその作成に追われております。昨秋結婚いたしましたので勤めと家庭とで毎日一杯一杯の生活をしておりますがどうやら病免もせず今のところ何とか統括しております。」

△児玉俊子

「私共のよう卒業と同時に数学とおさらばしてしまつた者にはこのような折に出席して皆様の御訓等を頂きますればよいと存じますが残念下ら出席出来ませぬので後日皆様の御様子会の事業活動状況等をお知らせ致しますれば幸と存じます。」

△盛谷（大次）政子

「乳児をか、えて多忙のため欠席致します。」

△添（ハ木）ふみ子

「昭和二十九年三月こちらに参りましてからずっと大阪の学校（四天王寺高女）に勤めて居りますが土地柄にもやつとなれて生徒も大部私のヤースに入つて来てくれた様な愛がして少しづつ張り合ひが出て来ました。女子大時代使えず歌っていた業しさが忘れられず今度職員でコーラスを始めようと計画中です。昏主に男のへは書によめる人が少いので進行することでしょうが」

△新階和子

「共闘する人が二十人程集りましたので果しみにしていただきます。大きな学校なので二十人からの生徒が居ります。がのみこみの甲い生徒努力してやつとこすつとこついで来る子、様々ですが特に数学の場合教え方如何で随分能率にひびいて来ますので言葉の選択が大切だとい頃ます。／＼痛感して居ります。」

「女子学院講師と数学の勉強はやめずに居ります。東大で御勉強をつづけたいと申しやります。」

△太陽寺（奥田）嘉代子

「昨秋十一月に長女を出産いたしました。なれないまゝに新米のママは終日育児に追われて居ります。」

△十圓（植村）貞子

「昨年結婚しまして現在も勤めて居りますので家事と仕事と両方に追われて毎日忙しくして居ります。」

△千葉（藤井）澄子

「千葉明徳高校に講師としておつとめです。」

△石田（前田）貞子

「昨年十二月三日に結婚いたしました。大阪に参りました。昨年は結婚が多かつたため日本銀行でも寮や行舎が不足し直の單身寮を少しおして間に合せてたもので何かと不便な生活をしていきます。主婦の仕事にまだよくなれませんので殺りますがもう少したつたら」

書の時間を多くしたいと思ひます。又数学の勉強をすゝめてゆくつもりです。よい数学書を御紹介頂ければ幸いです。会報にのぞみます。数学科がもつとく々々発展しますよう切にお祈り申上げます。

△福田(山本)淑子

「私の近況は相愛らず勉強半分家庭半分です。一向うだつが上りません。会に対する希望といつても別にありませんが親睦の会でしたらいつでも喜んで出席したいと思ひます。が規約や何かといつてもこの前の経験では誰も発言がなくて幹事の方はかり気をおもひになる様な気が致します。物理學を御専攻。」

△吉田 薫

「勤めて居りますので自分の時間が少くいつも色々な計画に追いまわされて居ります。」

△米田(馬岡)昭子

「昨年十一月に父兄の母になりました。目下その世話に忙殺されて居ります。」

◇昭和二十五年年

△長谷川侑里

私は現在二十八年度卒の岩谷良子さんと御一緒に東京大産院研究所表研究室に勤めさせて貰ひて居ります。

△鎌田美弥子

学校の近くに居住して居りますので忙がしさに

とりまざれて近頃はすっかり御無沙汰してしまいました。今度の会にも出席致したいのは山々なので御座います。が今は学生々冠を差つて居りまして土曜日も午後遅くまで居ります。お止めは致さずして居ります。

△影山千代(沢野)

大寒に入り尚昨日今日の雪で水も凍結に陥つて居ります。親睦会を催して下さいます。御座成る御旨祈願申上げて居ります。二月半や夫が戻来する事になつて居りますので仕度は何夜と違われ出席出来ないので残念ですが懇求御出席の方々に宜しく御返え下さいませ。私近くの女子大先輩内藤さんの経営して居られる製菓幼稚園で月一回催されます懇本信之助先生のお話を伺う会に出席致して居ります。二年半にわたつた子供がうるさくてばかりお話も身に染みないのです。が学生の頃の零風気尋思い出して居ります。

△佐藤幸子

せっかくでございませうが当日の時刻はおそらく勤務中では居りませうので欠席させていただきます。

◇昭和二十六年年

△榎本富美子

卒業以来国立教育研究所に勤めて居りましてもう五年にならうとして居ります。小中学生相手の調査やら

その結果整理の概略にあげられておりました。目下の欠はスキーに夢中というところでしょうが、

△川渡伸子（松井）
昨年十一月末男の子が誕生しました。小こくて寺がはなせまてくのお夫礼しております。

△高明子（不多）
こちらへ来て三度目の年を迎へ大分此国へらしくなりました。が数学の字にも親しめない平々凡々な主婦の毎日でお耽うかしく思つて居ります。

△岡由花子（宗宮）
私事十一月に結婚致しました。

△篠崎節子（中庭）
只今少々健康を損ねて居ります。昨春長男誕生致しまして近頃ではいたずらが激しくなり子決の世話に盛れお通しの日々を送つて居ります。

△大場裕子
裕子事昨年六月加太教習科卒、七月からダグラス飛行機製作所に勤務致して居ります。

△井上節子 一月末男の子を出産いたしました。
◇昭和二十八年卒

春寒、春暖を繰り返して、ようやく春の陽気となつて参りました。皆様お暮りごさいませんか。二月四日の

東京公には内藤、野村、高宮、河津と右様の名が出席致しました。皆様の様子をお聞きしたい。川さん三夏、渡辺、山田さん先生を三月一はいでおやめになりました。安岡さん御結婚なさつて東京の巻区におすまいです。

△赤羽奈美
早いものでして下関くんだりまで下つて来て教壇に一つ一年が終ろうと致しておりますが今だに先生教りが板につかないで困つております。嫌な事があると（とは申しませんが）無しように東京の噂等を思へて感つたり又時には全くたわいの無い事に教師の良心を味かい一人何物かに感謝してみたり、自分の力の不足を痛感させられたりと悲喜交々のうちに一年を過してしまいました。

△古家久子
おかげ様で元気で今年末試験、卒業、卒業後の居の準備などで忙しくして居ります。

△京田秀子
旭巻の教育研究所に出で調査の寺伝をして居ります。

△木暮幸子
今奥信州は白牙に囲まれております。ウィークデー

のすいている山を大穴スキー場にして楽しんでおりました。改修黒の黒助です。皆様もお出掛け下さいませ。

△野尻博子

唯今私共の方へ総理府設計局へは回務調査の集計でてんやわんや致しております。

△高橋静子

母日子供の世話で忙しく一日がしても遅かく感じられます。御近所の方々とコーラスをするのが何よりも楽しみです。

△津下泰子

お葉書有難うございました。残念でございますが勤めの関係で出張致し兼ねます。諸先生お元気でいらっしゃいますか。毎日仕事に忙しかつた生活を送っておりますがこういう仕事（学商係）と誇れた私の生活は何か単純なつまらないものに思ひつてしまふ様な気がいたします。どうぞ皆様にお伝え下さいませ。

△安藤友子

歓迎会のお知らせありがとうございました。もう第六回の卒業生を迎えますとは本当に月日はやがた思われまます。今回は久しぶりに先生方にも皆様にもお届にか、リたく存じますが止むを得ず欠席させて頂きます。相変らずの役所勤めのかたわら中学生の教壇を助けてあげたりしますのがさ、やかな喜びで御座います。

歓迎会には講演会を催して下さいます様希望致します。二月が訪れます。今度こそ親睦会の御案内状のたゞさありがとうございました。ついうっかり致しまして御返事差上げますことのおくれました事お許し下さいませ。

△鴨打淑子（副島）

いつの間にやら梅のつぼみもほころびはじめやがて二月が訪れます。今度こそ親睦会の御案内状のたゞさありがとうございました。ついうっかり致しまして御返事差上げますことのおくれました事お許し下さいませ。昨日には是非久し振りに女子大の門をくぐりたいと思っておりますが三月半ば頃ベビーが誕生致しますので身体の自由がさかす出席致しかねます。諸先生始め皆様によろしく御伝え下さいます様に。

△荒川妙子（釜元）

先日は歓迎会の御通知有難うございました。是非出席致したいと思つて居りました。バニニ三日間から身体の不具合が悪く、一ヶ月位は一歩外出出来ず、ございませぬので御返事がおくれなりましたが欠席させていただきます。

△広田鶴子

近頃は卒業生と等しいつも出席出来ずお詫言はかり致し申訳ありません。何年おしかかりませ。

△竹下みさ子

前回は親睦会に入社し申訳なく存じますが、昨秋以来身体の具合もよく元気にしておりすが、冬は寒いのでお休みさせていただきます。

△藤井京子（佐藤）

大寒の節寒さ厳しき折から倍々株が元気に御活躍の芽と轟ばしく存じ上げます。この様な機会に上賓を頼つては居りますがいつも仕事の都合でその株を得られない事甚だ残念に思います。どうぞ皆様楽しく遊ばある一日をお過ごし下さいます様盡くから心よりお祈り申上げて居ります。

住所変更・改姓

鈴木武香（旧分）中野区打越町三八

東區守野管内

△白松治子

毎月同じことばかりくり返している様々との頃は此この親睦会は大きな魅力なのですが学校の仕事もありますので止むを得ず欠席致します。会員の決定と親睦を兼ねて様開飲の様なものを作る事にしたい如何でしょうか。

△柳下和子

土曜は四時迄会社がござりますので欠席させて頂きます。最近もつばシスケットで飯能に通つて居ります。山田侯木子

自分でも気がつかないうちに先生々も一年になりませんが今だにどうしたか生徒に我々を頼りて居る様は世間の突力を充分につける事が出来るかといふ事はわかりません。

えてお話を返つて居ります。こちらにはあいにくお友愛も親戚も行く学校の先生方の甲にもあまり話相手になりようのない様な方もないので自然生徒と付き合いが様になつてしまひ、楽しい事はとても楽しいのですが、みなだかこのままで行くと自分の頭まで悪化してしまひそうだと予気で心配して居ります。

△佐藤由美子

左記に昨年未移転しました。神奈川県茅ヶ崎市小石田町三三三

△佐藤英子

団会での中学校の生活も遊びのなかにも楽しいものがござります。早や三学期もはじまり何かと気ぜわしさが感じられます。

住 前 変 更

昭和五二年

新築のさくら 横浜市保ヶ谷区村ヶ丘

移：丘高等学校

藤見 英子 杉並区成宮三ノ五五二

昭和五二年

世田谷区若林町一八六

昭和五二年

東京都中央区西ノ京山町四六

昭和十六年卒

柏原 淑子

澁谷区糖ヶ谷本町一ノ六一 教育大学寮

昭和十七年卒

青戸 玲子

横須賀市角賀町三ノ五五

昭和十八年卒

小島 信子

神奈川県座子市座子一三二一

村越アサ子

中野区本町通五の三二

小野寺志津子

札幌市北九條西四丁目 沢田アパート

昭和十九年卒

長岡 恭子

神奈川県相模原市上鶴岡字内四号

原 美穂子

北多摩郡国立町一八六

豊田 ミチ

豊島区池袋三ノ一四五四

昭和二十年卒

藤渡 久子

仙台市東九番丁八ノ三

昭和二十二年卒

山本 晶子

徳島県小松島市北浜九三

内山 文子

武蔵野市慶八四二ノ二七

小倉(西村)正子

Department of Oceanography

The Johns Hopkins Univ. Baltimore

18, mid. U. S. A. (三十年秋から)

二年間滞在の予定)

昭和二十三年卒

石塚 輝子(中村)

前橋市高田町九二五

沢田照子(内田)

新潟区下巻合一の七四三

松山兼子(天矢知)

世田谷区代田一の四〇一 春徳荘(京橋)

北川三千代(伊東)

富山県新橋町市巻アパート二の一

岡高照子(小林)

仙台市小田原長丁通二

吾口昌子(伊次)

岐阜県吉城郡神岡町東町住宅

須賀政(岡村)

高知市朝倉一七九

鈴木吉

杉並区中道町五三

齋川百合子

戸塚市打出翠ヶ丘町二六の二三 翠ヶ丘住宅三〇九

(大工榮)

天明照子(佐藤)

大田区田圃綱布一の二五の五

野田和子

大田区馬込町西四の六七の二

星野 郁

豊島区小菅町一二七二

藤川幸子(山本)

武蔵野市奥町一二の三

柳原千寿子(土倉)

中野区元町二の五町住宅六一二号

天野晴美(戸田)

中野区野方町二の一五七九 戸田方

山本敦子(角倉)

豊島区椎名町二ノ一八五二

坂築み(山本)

新野保中野原郡小林村診療所

昭和二十四年卒

岩崎竹子(中村)

中野区江古田三の一二五〇

福美照子(小杉)

板橋区上板橋三の六三七一

高松方

(志村第一小)

上田莊子(古沢)

港区赤坂青山南町六の一三五の二

大腸泰子

世田谷区上北沢三の一〇二九

奥野十恵子(佐々木) 岳川区長着兄ニ七四
 岡 栄子(香 掛) 北多广郡柏江町和泉一六六七
 加藤 滋子(扶桑) 大田区調布横町ニの六
 木村 武子 中野区江古田ニの五〇
 後藤 京(木 全) 港区青山南町五の五〇
 龜谷政子 (大 次) 世田谷区砧町ニ三三
 新臨 和子 世田谷区祖師谷ニの二二〇
 祿 山(八 木) 奈良市北市新庭町六八の三
 鈴木 妙子(太 田) 石田方 四天王寺高枝
 十圓 直子(橙 村) 福井市三ノ又町一六
 千葉 登子(藤 井) 新宿区上巻合ニの八二二
 天谷 裕子(山 崎) 中野区川添町四一(明徳高校)
 豊島 幸子 神戸市灘区八幡町三の一二
 前野 久子(木 村) 金沢市柿ノ木島一〇(北陸学院)
 野村 正子(小 木) 世田谷区世田谷ニの二〇八六
 深野 陽子(蓮 藤) 猿蓑寺住宅三四一
 藤沢市鶴沼一八九一(小水方)
 大田区石川町一七六(石川町)
 住宅三二〇
 彦成 繁子 横滨市鶴見区北寺尾町一五八七
 干山 玲子 神和市元町ニの二四五
 志田 貞子(前 田) 大阪府三島郡三宅村太中一〇八
 日本銀行十里仁寮

藤田 淑子(山 本) 世田谷区経堂町五八。
 船橋住宅三四〇。
 古谷 妙子(山 辺) 大田区久ヶ原町六一五(山辺方)
 松川 山(藤 戸) 世田谷区世田谷三の二三四四
 女子学院
 三井 淑子 葛飾区西條泉町二六
 米田 昭子(馬 岡) 大田区調布横町ニの七〇(貝増方)
 吉田 薫 北多广郡調布市入向一六五(青雲寮)
 吉永 正子(浅 泉) 世田谷区上比次ニの五二〇(浅泉方)
 安徳 越子(小 川) 大塚区赤平市平和台左二丁目
 昭和二十六年子
 関原(由 氏) 目黒区駒場九二五
 岡田 敦子 文京区向ヶ丘新生町三との六一
 昭和二十七年子
 松永 朋子(伊 次) 川崎市下平岡町ニ三〇
 下平岡住宅一、二、三、五
 大江久美子 中野区大和町二一四
 若林 幸子(沖 口) 新当市松波町三
 市原 礼子(小 野) 世田谷区玉川中町一の三八
 工藤多恵子 練馬区小竹町二六六二
 白石 栄子 今治市二番町
 陶山 繁子 杉並区天沼二ノ四九三

長谷川美恵子

江東区塚川木場三ノ一

吉川 公子

足立区小台町五五八

昭和廿七年(数理科)

井上 節子(加藤下)

埼玉県北足立郡殿町二六九〇

小笠原 祥子(小松)

末 啓子(佐藤)

神奈川県藤原市若合、国立神奈川療養所官舎

清水 幸子

吹田市美ノ堂一〇七〇

昭和二十八年卒

吉村 健子(安岡)

港区芝西久保城山町一

笠井 千代(笠井)

山梨県南巨野郡中富町西島

鈴木 浅香(園分)

中野区打越町三八(東豊中野療内)

昭和三十年、三十一年卒

有馬 昭枝

文栄区関口台町二六

麻生 柳子

(岩崎通信株式会社)

坂内 順子

静岡県静岡市北平東町三八

徳京 徳子

津田塾大学

堀口イソ子

神奈川県鎌倉市大町塔之辻

世田谷区五川上野毛町三七八

(70) 〇六二〇 (国際学会)

埼玉県秩父市高の例町四三六四

日比谷支店

佐藤 栄子

福岛県安達郡二本松町龜谷三ノ二

山岸 順子

世田谷区五川上野毛町三七八

山岸 順子

世田谷区五川上野毛町三七八

(立教大学)

小泉 洋子

神奈川県鎌倉市扇ヶ谷四〇三

小宮恵美子

(文紅飯田株式会社)

血藤 恵子

山梨県大月市駒場(大月)二二(弘前学院)

三卷 隆子

世田谷区新町一ノ七七 (42) 二二四九

宮沢富美子

世田谷区五川中町一ノ九六三

西脇 十枝

(70) 〇二二七 (大同毛織株式会社)

大和田セツ子

杉並区東田町二ノ一五〇(狭野方)

中村美智子

栃木県宇都宮市石町九一〇

西脇 十枝

(宇都宮)二一八八 (東洋大学)

永田 雄子

広島県三原市糸崎町二四一五

中村美智子

静岡県浜松市野口町

西脇 十枝

目黒区宮前町六四 (78) 四五五八

大和田セツ子

杉並区天沼二ノ三四六

立沢由美子

北区中十條二ノ一三 (92) 六一三三

武田美保子

目黒区椋ヶ丘三三〇二

武田美佐子

西多广郡西多广村川崎三二六

山岸 順子

神奈川県藤原市二七四三

佐藤 栄子

(泰時)一三六 (兼松商事株式会社)

山岸 順子

福岛県安達郡二本松町龜谷三ノ二

佐藤 栄子

福岛県安達郡二本松町龜谷三ノ二

山岸 順子

神奈川県茅ヶ崎市小和田四三三四

山岸 順子

世田谷区五川上野毛町一ノ二二九久保方

佐藤育子（中塚）世田谷区松泉町三ノ七六一

(32) 二二三三

編 集 後 記

今年も早新隊の頃となりました。会員の皆様にはおぼなくお話しの手と存じお慶び申し上げます。このマカるがらこの会報も第三号をお手許にお送りする事が出来皆様の御協力に編集者一同感謝致しております。

この号は二月四日（土）に行われまして新卒業生歓迎会の報告を中心として、当日御出席の皆様が御書き下さいましたアンケートの結果をまとめ、御欠席の皆様からの近況報告を幹事の方にまとめ、「おたより」と致しました。又特に平野先生が御執筆下さり多彩なものとして下さいました。

会報は会員の皆様の間に生れる研究と交友の報告の機関誌でありたいと思ひます。この度は研究報告が何ものせられませんでしたのが残念でございます。しかしおたよりを通じて、家庭、社会にあられる活様が如何に数学の研究に關心を寄せられておられますかを伺う事が出来まして、この会報が少しでもその様な方々にお役に立つ様になりたいたいものと存じます。

今年はず一号の現約にまします様に会報は「おたより」の改題の時期でございます。この号「おたより」は皆様の御協力を御願い致し、この号は「おたより」

会 報 第 三 号

発行日 昭和三十一年五月二十日

発行所 東京女子大学同窓会 数学会

発行所 東京都並区千代田区日

東京女子大学内

